

## 東京都の教育支援コーディネーター・フォーラム 12/14



今年度も、東京都の教育支援コーディネーター・フォーラムが都庁で開催されました。年を追うごとに盛んになってきて、今年度はフロアいっぱい企業等のブースが設置されていました。午前中、それぞれのブースを見て回りました。焦点を絞らないと、回りきれないくらいでした。

支援 57 号に今年度のブースの一覧表を同封しました。また、12月27日の交換便で、学校宛に1部ずつ、今回の冊子が送付されています。ご確認ください。興味のある企画には、なるべく早く電話などで問い合わせると良いと思います。人気の企画は、すぐ、いっぱいになります。不明な点は、学校支援センターに問い合わせてください。

### 本町田東小学校の実践が掲載されます

東京都教育庁地域教育支援部では「学校支援ボランティア推進協議会事業 活動実践事例集」を毎年度3月頃発行しております。このたび町田市からは、本町田東小学校の実践事例が掲載されることになりましたので、前もって本号でも紹介いたします。

- 学校名 町田市立本町田東小学校
- コーディネーター数 2名
- ボランティア数 213名
  
- 活動の概要
- I 学校近隣の教育的価値ある施設と人材の活用

## II 民間企業等による教育支援プログラムの導入

### III 学習支援学生ボランティアのコーディネート

#### □ コーディネーターの役割

本校は恵まれた自然環境のもとで、徒歩圏内に体験活動ができる地域の施設や自然が数多くある。その恵まれた環境を大いに活用し、児童にとって有意義な学習活動をコーディネートする。スクールボード校(学校支援地域理事)の方とも連携を密にし、地域人材と学校との間のコミュニケーションをとり、支援を図る。それには1)情報…情報入手先のバリエーションを豊富にする、2)企画…学校の要望やボランティアの希望をしっかりと把握し、学校の授業計画に役立つのか、ボランティアの個性や力が発揮されるのかを重視する、3)調整…時間割の変更や内容の微調整は間近になることが多いので、臨機応変な対応を心掛ける。これら学校のニーズにマッチする支援を行うのがVCの役割である。

#### □ 活動上の工夫や配慮等

##### I - (1) 近隣介護施設「デイサービスゆらり」訪問 (3年生総合) お年寄りとの交流

1～2年生で学習し地域の方より教わった「昔あそび」の発展学習を生かし交流した。施設の職員と連携し学校の作品展にも出品してもらった。

##### I - (2) 町田市青少年施設「ひなた村」で陶芸授業 (4～5年生図工)

学校に隣接し、徒歩で行ける施設である。陶芸室の窯も利用でき、ひなた村職員の人材も活用できる。「春～秋をさがそう」などの生活科で利用できる。施設内の屋外広場や隣接する本町田遺跡公園(6年縄文体験学習)も活用している。

##### I - (3) 茶道体験 (5年生総合) 本校には市内有数の立派な和室があり、「町田茶道会」に依頼し2008年より茶道体験を導入した草分け的な実施校である。



デイサービスゆらり訪問



陶芸授業



茶道体験

本校の特色ある授業としてコーディネートを継続している。

## II 「FutureForecast」や「まなびアンテナ」という情報誌や、知人や学校長の薦めをきっかけとした、企業提供プログラムを積極的に取り入れた。

- ・ディズニーリゾート「魔法の教室」～町田市初の実施(1～2年生)
- ・カゴメ「りりこトマト」プログラム～苗をもらい育てる(2年生)
- ・サントリー「水育」(5年生)
- ・劇団四季「美しい日本語の話し方教室」(6年生)

## III 本校では複数の大学から学生ボランティアを継続して活用している。

(ボランティア日誌を活用した情報の共有)

#### □ 活動の成果や感想

地域施設の活用や企業の出前授業は、専門家ならではの魅力ある活動を享受でき、児童の楽しく生き生きとした顔が見られる。児童の達成感を感じられることは幸せである。学校としては学習のねらいを踏まえた指導計画への位置付けが課題のようである。VCとしては、地域を含む人材と学校との、より良い連携を図ることを念頭に感謝の言葉を忘れずに大切にしていきたい。

## 行政書士会の出前授業 南第三小学校 6年生 12/17

校長会で紹介・説明があり、学校と地域の行政書士の方とのつながりで、南第三小学校の6年生が「行政書士会の出前授業」を受けました。テーマは「きまりやルールについて考える～自転車のルール～」です。行政書士会の方が学校支援センターを訪れ、この授業を知り参観させていただきました。



行政書士の方は事前に学校と何回か打ち合わせを持ち、指導計画を作成したそうです。行政書士とは何かに簡単に触れ、学校のきまりを元に法規について考えさせました。次に、自転車のきまりとして必要だと思うことを一人一人考え、ワークシートに書かせた後、グループで話し合い一つに絞らせ、班長が発表しました。二人乗りはしないや免許制にするなどのきまりが発表されました。12人ほど参加された行政書士の方はそれぞれに役割分担があり、話し合いのときは一人ずつグ

ループに入ってリード役をしました。法律（道路交通法）もこのようにみんなで話し合っ

て決めていることの説明がありました。最後に、自転車に安全に乗るために今すぐできることとして、何かをしながら運転しない、ブレーキ等の点検をするなどが話されました。

## 国際理解教育「馬頭琴の演奏とモンゴルについて」

### 相原小学校 6年生 1/18

町田市内には地域と連携した事業を推進している大学が少なくありません。桜美林大学には、地域連携事業推進の担当部署があり、このほど、相原小VCの要請を大学担当者がまとめてくださり、市内で初めて桜美林大学のモンゴル交換留学生による国際理解教育の授業が実現しました。モンゴル長期交換留学生ザヤさんを講師に招いた授業は、1月18日の相原小学校・学校公開の日に行われました。

6年生3学級はランチルームに集まり、





モンゴルのことや馬頭琴の演奏を2時間にわたって聴くことができました。モンゴルの説明では、モンゴル⇔成田の移動時間、国土の面積、人口、歴史、交通、家畜、食事、伝統的なお菓子、民族衣装、伝統的な家（ゲル）、モンゴル文字、モンゴルの正月、宗教、おもちゃ、スポーツ、学校教育など、画像をふんだんにとり入れたパワーポイントで説明。ザヤさんは母国でも日本語を履修していたので日本語をよく理解しており、会話も流暢で、子供たちからの

質問にも通訳なしで即答していました。馬頭琴の演奏家として各地で演奏しているザヤさんから、この日は3曲演奏していただきました。授業を受けた児童はモンゴルのことが大好きになったことと思います。相原小では2年生の国語授業「スーホの白い馬」で、もう一度ザヤさんにGTを依頼することになっています。また、1月25日には小山小、1月31日七国山小、2月3日山崎小、2月17日小山ヶ丘小でもGTとしての予定があるとのこと。興味・関心のある方は、学校支援センターに問い合わせください。

※ ザヤさんは「タウンニュース」の人物風土記にもとりあげられました。

### 【事務連絡】

#### 【町田市考古セレクション2】が開催されます

新年度の4月中旬から6月上旬まで、自由民権資料館で、2回目の「町田市考古セレクション」が開催されます。今回は、縄文時代の「田端東遺跡出土の中空土偶の頭部」が町田市の有形文化財として新指定されたことを記念した企画です。（全国で3例しかない貴重な土偶です）

あわせて、市内出土の縄文土器・石器の優品、約70件が展示されます。ちょうどこの時期は6年生の社会科学習や「ひなた村での縄文体験教室」と重なります。特に、近隣の学校は縄文体験教室の折、少しでも立ち寄って、縄文時代を体感してみたいはいかがでしょうか。教育計画を作成するこの時期、ご一考いただければと思います。

#### 【町田市学校支援ボランティア感謝状贈呈式】開催迫る

日時：2014年2月4日（火）14:00～16:00

会場は「町田市生涯学習センター7階ホール」です。お間違えのないようにしてください。

このたび表彰される方は40名（個人・団体）にのぼりました。誠にありがとうございました。

### 【お礼】

2013年度の「町田市学校支援ボランティア感謝状贈呈式（2月4日開催）」が間近になってきました。開催の準備に際して、各校の校長先生はじめ副校長先生やボランティアコーディネーターの皆様にはたいへん御手数をおかけいたしました。特に、感謝状を贈呈される方の画像をお送りいただく上で、お手間をおかけしたことと思います。心よりお礼申し上げます。